

昭和40年代～昭和60年代

昭和40年代からは新しい住宅団地が開発されるようになりました。昭和58年には阿久比の玄関口となる名鉄阿久比駅が新設され、暮らしや交通の利便性の向上につながりました。

また、豪雨災害に見舞われ、町内に甚大な被害をもたらしました。

1969年(昭和44年)

宮津団地の完成

従業員の社宅として、富士製鉄団地（現在の宮津団地）が完成し、818世帯2,741人が増えました。



宮津団地

1970年(昭和45年)

知多半島道路開通

昭和45年7月に開通し、名古屋方面へつながる交通の要衝となっています。詳細は97ページ



阿久比インターチェンジ

1974年(昭和49年)

昭和49年豪雨

台風8号及び梅雨前線により、知多半島は豪雨に見舞われ、町内にも多数の被害をもたらしました。

詳細は91ページ



昭和49年豪雨被害

1976年(昭和51年)

昭和51年豪雨

9月12日、台風17号による長雨で、蟹田川や前田川、矢勝川の堤防から水があふれ、横松では崖崩れが起きるなど、甚大な被害をもたらしました。

詳細は91ページ

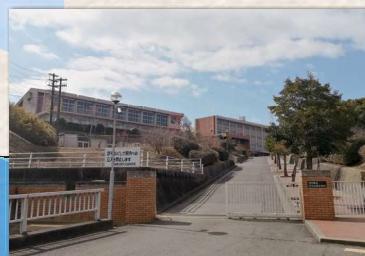


昭和51年豪雨被害

1979年(昭和54年)

愛知県立阿久比高等学校開校

詳細は100ページ



愛知県立阿久比高等学校

1981年(昭和56年)

高根台団地の完成

町北東部に戸建て住宅による住宅団地が完成し、昭和56年から入居が始まりました。



高根台団地

1971年(昭和46年)

全町上水道に切り替え、簡易水道を廃止**阿久比中学校移転**

丸山公園の場所から昭和46年に現在の場所へ移転しました。



阿久比中学校校舎

宮津山田の完成

宮津山田の地に住宅団地が完成し、235世帯960人が増えました。

草木地区の開発

知多半島道路が開通したこと、時間的にも名古屋に近くなったことから、土地の整備が進み、住宅地が広がっていきました。

1973年(昭和48年)

オイルショック始まる

1974年(昭和49年)

**福住園高台、
白沢台の完成
丸山公園運動広場完成**


丸山公園運動広場竣工式



1983年(昭和58年)

名鉄阿久比駅開業

阿久比の玄関口として急行列車が停車する阿久比駅が新設されました。

詳細は 98 ページ



阿久比駅開業

1986年12月～(昭和61年～)

バブル景気の始まり

1983年(昭和58年)

図書館開館

坂部城址の一角に町立図書館が完成しました。



図書館